

平成 30 年度 愛媛県立弓削高等学校 入学式式辞

暖かい春の陽気に包まれて、美しい瀬戸の海も一段と輝きを増し、生命が躍動する季節の、今日の佳き日に、多数の御来賓の皆様、保護者の皆様をお迎えし、平成三十年度 愛媛県立弓削高等学校 入学式をこのように盛大に挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二十九名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんの入学を祝福するとともに、心から歓迎いたします。また、これまでずっとお子様を温かく支えてこられた保護者の皆様、立派に成長されたお子様の姿に、感激もひとしおのことと拝察いたします。お子様の御入学、誠におめでとうございます。心よりのお祝いを申し上げます。

本校は、「勉学」「敬愛」「創造」の三つの言葉を校訓とし、自ら考え、課題に挑戦する一人ひとりの学習力の向上と、心豊かでたくましい生徒を育成することを目標としています。皆さんは、今、様々な夢と希望、そして、少しばかりの不安な気持ちを持って、ここに座っていることと思います。三年間、今のこの志を大切に、高校生活を送ってほしいと思います。「志あるところに道あり」この言葉を皆さんに送ります。意志があるところに道が開けるといことです。「志」という漢字を思い浮かべてください。「志」の「心」の上の横の線は、出発する線を表しています。そして、その上の「十」の部分は、その出発する横線から一歩踏み出す「足」の形を表しています。このことから「心」の向かうところ「ころざし」という意味になりました。皆さんの進む道、望む道は、皆さんの「心」つまり「意志」から作られることとなります。ぜひ、自分の意志で高校生活を歩いて行ってください。

夢と希望に胸をふくらませ、清新な気持ちに満ちている皆さんに、高校生活を楽しむための、三つの心を伝えたいと思います。一つ目は「学び合う心」です。現代社会において必要とされる学力は、正解のない問いに対して、みんなで協力して、みんなが納得できる答えを見つけ出す力です。いわゆる主体的、対話的で深い学びが必要となるのです。友人とともに学び合って新しい時代にふさわしい学力を身につけてください。

二つ目は「支え合う心」です。人は一人では生きてはいけません。どんな世界

に羽ばたいても仲間と共に、その社会の一員として生きるほかないのです。その時に必要となるのが互いを認め合い、互いを尊重する力です。私の好きな言葉に「人それぞれに花あり」という言葉があります。誰もが自分にしかない花を必ず持っています。人それぞれの花を認め、誰もが花を咲かせられるように支え合う集団であってほしいと思います。自分だけの美しい花を高校時代にたくさん咲かせてほしいと思います。

三つ目は「高めあう心」です。「昨日歩いたこの道、今日歩くこの道、明日歩くだらうこの道。同じだけど違っている。そういうことに気づく人になりたい」私が小学生の時から気に入っている言葉です。この言葉は、同じ道を歩いても、そのちょっとした変化に気づくような、みずみずしい感受性を持つとうという意味だとずっと解釈していました。もちろんそれでもいいと思いますが、最近では、ちょっと違った解釈をしています。同じ道を歩いて違いに気づくためには、自分自身が変わっていなければならないと思うようになったのです。今は、この言葉を、昨日よりは今日、今日よりは明日、自分自身が少しだけ高いところに進んでいよう、そうすれば違った視点で物事を見ることができる。いわゆる「日々成長」という意味だと解釈しています。仲間とともに、先生とともに夢を語り合い、目標を定め、志を持って一生懸命努力し、お互いが自分自身を高め合ってほしいと思います。毎日、一歩前進できるような高校生活を送ってください。

新入生の皆さんは、今日から弓削高校の一員です。「学び合う心」「支え合う心」「高め合う心」という三つの心を忘れずに、いろいろなことに挑戦して、自らの力で大きく成長することを期待します。

最後になりましたが、保護者の皆様、私たち弓削高校の教職員は、お子様が成長していくための支援を全力で行う所存です。保護者の皆様におかれましても、本校の教育への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日、入学しました皆さんの高校生活が、健康で輝かしいものとなりますよう心から祈念して入学式の式辞といたします。

平成三十年四月六日 愛媛県立弓削高等学校長 願成寺 優